

1 森林とのふれあいを目指した取組

(1) 森林ふれあい推進事業

「国民の森林」として、森林での環境教育活動や体験活動など国民の福祉の増進等に寄与する活動として、森林への関心・理解を高めることを目的に「森林ふれあい推進事業」を実施しています。箕面国有林をフィールドとして事業を実施していただける団体を募集し、協定を締結して箕面森林ふれあい推進センターとの共催による事業を行いました。

① カブトムシ里親まつり（協定相手方：特定非営利活動法人 NPO クワガタ探検隊）

カブトムシの飼育を通じて命の尊さを学ぶイベントとして、「カブトムシ里親まつり」を令和元年度から実施しています。参加したご家族が、箕面市生まれのカブトムシ（成虫ペア）を持ち帰り、それぞれのご家庭で飼育していただくとともに、その成虫が産卵すれば箕面国有林に放虫するという取り組みです。令和6年度は7月21日に飼育編、10月13日に放虫編、さらに12月1日に植樹編を開催し、合わせて27家族70名の皆さんに参加いただきました。参加者には3回全て参加したご家族や、お爺さんから乳児のお孫さんまで三代で参加されたご家族もいらっしゃいました。

飼育編では昆虫ベッドの整備も行いました。昆虫ベッドとは、カブトムシの幼虫の生息場所となるように腐葉土を敷き詰めた空間で、イベントにご参加いただいた皆さんと一緒に、生育環境改善のため土の入れ替えを実施しました。

また、植樹編では、カブトムシが好む樹液場を増やすコナラの植樹を実施しました。



【写真-22 カブトムシとのふれあい】



【写真-23 植樹の様子】

② 森林セラピー体験（協定相手方：NPO みのお山麓保全委員会）

箕面の森林に親しんでもらうことを目的に、「みのお森のセラピー」を開催しました。

令和6年度は11月24日（土）に勝尾寺園地で開催し、15名の方にご参加いただきました。

当日は少し肌寒い日でしたが、小川に足を浸したり、林間に設置されたハンモック体験やハーブボール作りなど五感で森林を体感していただきました。

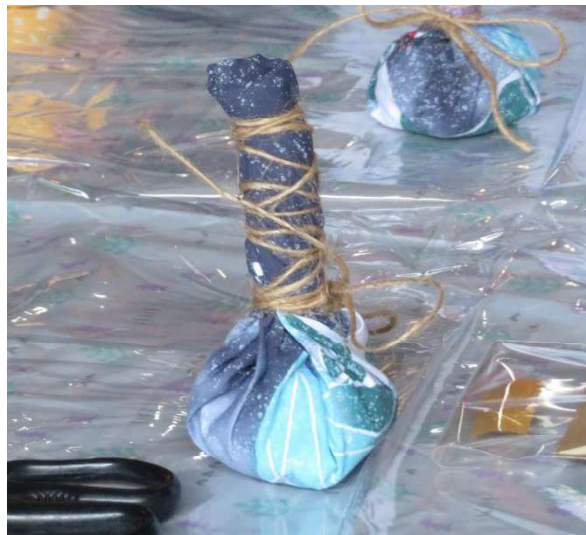
参加者からは「心が落ち着いた」「これからも五感を意識して使っていきたい」などと感想をいただき、帰路のバスの中でもハーブボールの匂いを確かめるなど、日常とは違う森林体験に満足されたようでした。



【写真-24 全身で木を感じる参加者】



【写真-25 ハーブボール作成】



【写真-26 ハーブボール完成】

2 冊子活用状況

冊子一覧



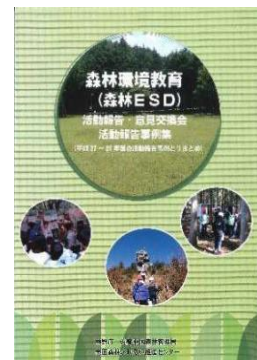
教科書にのっている！植物図鑑



森林環境教育手引書〈小学校編〉



森林環境教育推奨事例集



活動報告事例集



『雨水のぼうけん』 絵本版



『もくざいのヒミツ』 絵本版

Ⅲ 森林・林業・木材利用に関する広報・普及活動

冊子の配布状況

配布月	府県	配布先	配布物
令和3年 4月	奈良県	近畿大学	手引書・森林環境教育推奨事例集・森林 ESD 活動報告事例集各 10 部
令和3年 7月	全国	各関係機関 図書館等	『雨水のぼうけん』絵本版 200 冊追加印刷 うち 100 部配布
令和4年 1月	全国	各関係機関 図書館等	『もくざいのヒミツ』絵本版 200 冊印刷
令和4年 3月	全国	管内2府12県 市町村の教育 委員会 各関係機関等	新版・森林環境教育手引書 2,000 部印刷 うち 1,100 部配布
令和5年 9月	全国	各関係機関	手引書 1,000 部増刷、新たに 1,300 部配布 『もくざいのヒミツ』100 冊、『雨水のぼうけん』90 冊
令和6年 3月	全国	各関係機関	『環境教育手引書』 24 冊配布 『雨水のぼうけん』絵本版 51 冊配布 『もくざいのヒミツ』絵本版 46 冊配布
令和6年 3月	全国	各関係機関	『環境教育手引書』 225 冊配布 『雨水のぼうけん』絵本版 150 冊配布 『もくざいのヒミツ』絵本版 55 冊配布



3 情報発信

(1) 活動紹介（「森林（もり）のギャラリー」

令和6年5月1日～5月30日に当センターの各種取組について パネルで紹介展示を行いました。



【図-15 パネル展示の例】

(2) こだま通信

NO.125～NO.129 を発行し、箕面森林ふれあい推進センターの取組状況について情報発信を行いました。

こだま通信 No.125

こだま通信

Kodama Communication No.125

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

「山とみどりのフェスティバル」に出展！！ ～「木工キーホルダー」づくりを体験～

4月29日（月）みのおキューブモール（箕面市）において、みのお山麓保全委員会主催の「山とみどりのフェスティバル」が開催され、当センターは箕面の森林を感じてもらおう取組として、「木工キーホルダー」づくり等の体験ブースを出展するとともに、森の働きが学べる紙芝居を上演しました。当日は曇りで強い日差しもなく、風も穏やかで過ごしやすいイベント日和となり、会場には約2,000名の方が来場されました。

展示ブースでは、あらかじめ細かく切っておいた木の枝から好きなものを選び、目玉をつけたリボンを書いてもらって、自分だけの「もっくん」を作ってもらった体験のほか、木のお絵描きストラップ制作体験やクロモジを用いた香り袋の配布を行いました。参加者からは「楽しく遊ばせてもらいました」「クロモジについて初めて知りました。」などの感想をいただきました。

またステージにおいて、職員が作成した創作紙芝居「雨水のぼうけん」ともぐざいのヒミツ」を計2回上演し、たくさんのお子たちに見てもらいました。

当センターでは、引き続きこのようなイベント等への参画を通じ、より多くの皆様に森林・林業の大切さを普及する取組を進めて参ります。

「もっくんづくり」に後援者も参加

「もっくんづくり」体験の様子

創作紙芝居「雨水のぼうけん」の上演

紙芝居「もぐざいのヒミツ」の上演

こだま通信 No.125 page1

近畿大学の国有林視察

6月27日（木）、近畿大学農学部から30名（学生28名、教授2名）が箕面国有林を視察しました。

シカ被害防止対策の実習

まず、シカ被害防止対策の実習として、くくり罠設置の体験をしてもらいました。大阪府猟友会箕面支部の中垣氏（編集従事者）から、くくり罠の設置方法や安全対策など、実践を交えた説明を受けた後、学生たちはいくつかのグループに分かれ実際にくくり罠を設置し、捕獲したときの作動などを確認してもらいました。学生のほとんどが初めての体験だったため、時間いっぱいまで自主的にシカ民の設置を行なうなど、関心が高いことがうかがわれました。

『森の探検隊』の体験

次に、森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験してもらいました。学生には3つのグループに分かれて、探検ポイントを4～5つほど回り指令書の問題を自分なりに考えてもらいました。学生からは、「所定のポイント以外でも興味を引くような説明があった」「大人でも楽しめる内容であり、幅広い世代に森の良さを伝えられる」等の感想をもらいました。

短い時間での視察となりましたが、学生の方が今回の視察により林業関係の仕事や、我々林野庁の仕事に興味を持っていただければ幸いです。

当センターでは、今後も国有林における取組について理解を深める機会を積極的に作ってまいります。

中垣氏からの説明

中垣氏からの説明

くくり罠

罠の作動を確認

くくり罠

罠の作動を確認

『森の探検隊』の説明

国有林の取組についての説明

こだま通信 No.125 page2

こだま通信 No.126

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

Kodama Communication R.6.11 No.126

『カブトムシ里親まつり(飼育編)』を
開催しました！

7月21(日)、箕面国有林において『カブトムシ里親まつり(飼育編)』を開催しました。このイベントはふれあい推進事業の一環として、NPOクワガタ探検隊と共催で実施しているもので、カブトムシの飼育を通して自然とのかわりや命の大切さを学ぶことを目的として開催しており、今回は14家族38名の方が参加しました。

『カブトムシ里親まつり』は「飼育編」で、参加者はカブトムシのオスとメスのペアを持ち帰り、「放虫編」にて生まれた幼虫を昆虫ベッドに放すイベントで、自分たちで育てたカブトムシが次の世代につながっていく過程を体験してもらっています。

参加者はまず、クワガタ探検隊の方が作成した創作紙芝居「なんでやねん！昆虫の王様」を見ながら、生き物についての知識を深めていました。次に、カブトムシのペアが配られ、子供たちはうれしそうに顔をしながら、自らの手でカブトムシを自分の飼育ケースに移していました。

最後に、花の谷周辺を探索し、カエルやトンボ、トカゲなど様々な生き物と触れ合い、楽しんでいただきました。

参加者からは、「カブトムシを育てるのが楽しかった」「自宅の近辺に自然が少ないので貴重な体験になりました」などの感想をいただきました。当日イベントを通じて、生き物を育てることへの責任や、生き物を通して森の豊かさを学んでいただければ幸いです。

こだま通信 No. 126 page1

～『箕面 FOREST WALK IN 勝尾寺園地』～

夏の終わりが感じられる10月6(日)、箕面国有林「勝尾寺園地」において、近畿大学が取り組んでいる「近畿大学と中大連携森林学習プロジェクト」のイベントを近畿大学と連携協定を結んでいる近畿中国森林管理局が後援として開催しました。

中大連携森林学習プロジェクトとは、近畿大学農学部の学生団体であり、中学生が森林について学ぶ機会を提供することを目的として、幅広く森林環境教育を行っています。イベント当日は、前日までの雨とは違ってフィールドワーク日和の天気となり、「森林散策」「クワッド体験」などに応募のあった総勢38名が参加され、大規模なイベントとなりました。

「森林散策」では、学生があらかじめ調べたポイントごとに、植物の生態などをクイズ形式で出題しながら、動植物の観察を行うなど、緑に囲まれながら自由に過ごす体験をしていただきました。「クワッド体験」では、大学キャンパス近くで昨年から集めていた様々な自然素材(ドングリ、枝など)を使って、参加者がそれぞれに創意工夫をこらした作品を大事そうに持ち帰る姿を見ることができました。

一日という短い時間でしたが、様々な体験を行うことができ、森林の魅力や伝えている、大学生ならではの行動力と知識の豊富さを生かした良いイベントだと思います。加えて、大学生が自主的に森林環境教育に興味を持って活動していることが、たのびに感じました。

当センターでは、協定に基づく取組の一環として、今後も近畿大学と連携して人材育成などに取り組んでいきます。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:050-3160-6745 FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 2F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@aff.go.jp

近畿中国森林管理局プレスリリースをご覧ください。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:050-3160-6745 FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 2F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@aff.go.jp

こだま通信 No. 126 page2

こだま通信 No.127

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

Kodama Communication R.6.12 No.127

ウシガエル捕獲大作戦！
～特定外来生物ウシガエルの駆除を実施しています～

10月10(木)、箕面国有林においてウシガエル捕獲大作戦を実施しました。

「箕面体験学習の森」にある「花の谷(ビオトープ)」は、モリアオガエルやトノサマガエルなどの希少な在来生物が確認されています。

ウシガエル捕獲大作戦は、明治の森箕面自然休養林管理運営委員会と協働で実施しているもので、特定外来種であるウシガエルの駆除を通して在来生物の保護及び生物多様性の保全を目的として開催しています。今年度は、「清水谷を守る会」「箕面観光ガイド」「箕面ナチュアリストクラブ」「箕面生物多様性会議」の団体から参加され、当センターを合わせて10名での実施となりました。タモ網や投網を用い、最終的にはオタマジャクシを205匹、成体のウシガエルを4匹捕獲することができました。今年度の現在の捕獲状況は、この大作戦の捕獲数を上回って347匹となり、最近ではトノサマガエルの小さい個体や、モリアオガエルの卵塊の数が多くなってきたように感じました。

当センターでは、今後もこの活動を通して「花の谷」の生物多様性を守っていきたく考えております。

こだま通信 No. 127 page1

10月13(日)、箕面国有林において『カブトムシ里親まつり(放虫編)』を実施しました。このイベントはふれあい推進事業の一環として、NPOクワガタ探検隊と共催で実施しているもので、カブトムシの飼育を通して自然とのかわりや命の大切さを学ぶことを目的として開催しており、今回は8家族27名の方が参加しました。

カブトムシ里親まつり「飼育編」で参加者はカブトムシのオスとメスのペアを持ち帰り、「放虫編」では生まれた幼虫を昆虫ベッドに放すイベントで、自分たちで育てたカブトムシが次の世代につながっていく過程を体験してもらっています。参加者は、まずクワガタ探検隊の方が作成した創作紙芝居「タマシの彩ちゃん」を観ながら、生き物についての知識を深めていました。次に、昆虫ベッドに産卵土を敷き詰め、カブトムシたちのすみかを整え、子供たちは初めて触る幼虫にはしゃぎながら、自らの手でカブトムシを昆虫ベッドに放していました。

最後に、ビオトープ「花の谷」周辺を探索し、カエルやトンボ、トカゲなどの生き物と触れ合い、楽しんでいました。また、その際、特定外来生物のウシガエルを捕獲、観察することができ、初めて見るカエルの大きさに、子供たちだけでなく、大人の方も楽しんで見ることができました。

参加者からは、「紙芝居の絵が上手だった」「幼虫さん大きいカブトムシになるというね」等の感想をもらいました。当日イベントを通じて、生き物を育てることへの責任や、森の豊かさを学んでいただければ幸いです。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:050-3160-6745 FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 2F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@aff.go.jp

こだま通信 No. 127 page2

こだま通信 No.128

こだま通信
Kodama Communication R7.2 No.128

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

「山とみどりのフェスティバル」に出展!! ～“森の工作”を体験～

例年より遅い紅葉にも、たくさんの観光客が訪れた令和6年11月3日、明治の森賞園公園の遊安寺(りゅうあんじ)前広場において、「山とみどりのフェスティバル」(主催:箕面市、NPO法人みのお森林山麓保全委員会)が開催され、当センターは、箕面の森林を感じてもらおうと、「森の工作」を出展しました。有名な箕面大滝に向かう「滝道」に近いこともあり、家族連れや訪日の外国の方など、多くの方が立ち寄られました。

今年度は工作のため、リスの食痕である「森のエビフライ」と、枝を顔に見立ててキーホルダーを作成する「もっくんづくり」を体験してもらいました。工作の参加者は、リスが作り出す食痕の形を興味深そうにながめ、赤いしほなどをつきつけエビフライに近づけたキーホルダーを作っていました。リスが作り出す「もっくんづくり」では工夫してリボンをつけ、より可愛くなった「もっくん」を見せてくれる子もいました。通りかかる外国の方には、当センター職員が作成した沿道の樹木について紹介した外国語のチラシを手に取って頂き、理解を深めてもらいました。また、会場に設置された「ふれあいステージ」では、職員が作った創作紙芝居「雨水のぼうけん」でもぎのびのビーツを上映し、小さな子どもをはじめ多くの方から好評でした。

展示ブースの様子

創作紙芝居「雨水のぼうけん」の上演

「森の工作」体験

こだま通信 No.128 page1

「森林環境教育」の実践

令和6年11月10日(日)、箕面国営林において日本森林ボランティア協会の協力を得て、子ども17名(学生)と大人23名を対象にした森林教室を行いました。

午前中は、ボランティア協会の指導で除伐及びササ刈りをして頂きました。香段は鎌などを持たない子どもたちは、慣れないながらも丁寧に作業をしていました。午後は、ネイチャーゲームとシカと森林の現状についての話をしました。最初は、背中に動物の写真を貼って他人のヒントをもらい、その動物を当ててネイチャーゲーム「動物交差点」をしてもらいました。参加者は皆考えて質問をし、次々と自分の背中に貼られた動物を当てて楽しんでいました。次に、リスなどの野鳥の特性を模したゲーム「ごちそうはどこだ」をおこないました。参加者は2チームに分かれ、互いの陣地に隠れた「エビフライ」を探しあつた後に、今度は自陣に隠した「エビフライ」を探すと、結局は他の動物に食べられたり、自分で隠したにも関わらず忘れてしまうというところを、知って頂きました。参加者は再度隠した物を探すとすると意外と見つからないものだと感じました。

最後に、シカの食害を防止するために設置された防護柵の前で、内側と外側を見比べ植生の繁茂状況の違いに驚きながらも、増えすぎたシカによる森林の現状について真剣に聞き入っていました。

動物交差点

ゲーム「ごちそうはどこだ」を体験

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-3160-6745/FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局2F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@maff.go.jp
当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 小だま通信 No.128 page2

こだま通信 No.129

こだま通信
Kodama Communication R7.3 No.129

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

体験型「森林環境教育」を実践!! ～“森の探検隊”を行いました～

木々の色づきが増す中、令和6年11月21日、箕面国営林「エクスボ」90mのお記念の森において、豊能町立東能勢小学校5年生14名の生徒たちと、「森の探検隊」を実施しました。

『森の探検隊』とは、参加者が5～10人程度の班に分かれて森の中を探索し、各地に設置された「指令書」に従って、森林にまつわる謎を解いていくという森林環境教育プログラムです。各班にはそれぞれ職員がついており、「指令書」にまつわるヒント出しや答え合わせなどを行いながら、参加者は森林について知識を深めていきます。

今回は、班ごとにマップ係やカメラ係、メモ係など役割を決め参加していただきました。森の探検隊が始まってみると、指令書に關わらず道端の草や木について質問するなど、好奇心旺盛な子供たちの様子に私たち職員も一緒に楽しむことができました。指令書には難しい問題もありましたが、意見を出し合いながら考えることで、しつこく正解にたどりつくことができました。

次に、シカの食害や外来種による生物多様性の問題について講義を行いました。シカの食害による草木の種類の単一化や、外来種による在来生物の駆逐を防ぐために、捕獲、駆除を行っているということや、処分したシカや外来種を有効活用するのが難しいことなど、小学5年生には難しい話もありましたが、皆さん真剣に聞いてくれました。

体験した子どもたちからは「もっといろんなところに行きたかった」「違うルートに行ってみたかった」「まだまだ探検し足りない!」などの感想があり、今回の体験を通じて、森林に対する興味関心を育むことができました。人の手で森を守ることの大切さや、命に対する責任などについて、少しでも考えるきっかけになれば幸いです。

出発!

「森の探検隊」開始!

指令書を見

職員より説明(シカの食害について)

こだま通信 No.129 page1

カブトムシ里親まつり(植樹編)を開催

例年より遅い紅葉が見頃となった令和6年12月1日、箕面国営林「エクスボ」90mのお記念の森で「カブトムシ里親まつり(植樹編)」を開催し、6家族13名の方々に参加いただきました。今回はこれまでに開催された「何育編」「放虫編」を通して参加して下さった方々がたくさんおられました。

始めに、花の谷周辺の自然散策を楽しみ、NPOクワガタ探検隊の西さんから、どんぐりやこの時期に咲く赤いサザンカの花など植物の解説を聞き、興味深く見入っていました。その後、西夫表による創作紙芝居「マンモスくんにもあった赤い足」を見た後、クヌギの苗木の植樹を行いました。

植えた苗木がシカに食べられてしまうのを防ぐため大きな苗木を準備したので、参加者は、苗木を植える穴を掘る大変さに困りながらも交代しながら、5本の苗木の植栽をしていただきました。

植物についての説明

創作紙芝居「マンモスくんにもあった赤い足」の上演

苗木の植樹の様子

参加者の皆様

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-3160-6745/FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局2F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@maff.go.jp
当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 小だま通信 No.129 page2

(3) 近畿中国森林管理局広報誌「森のひろば」

No.1184 にふれあいセンターの情報が掲載されました。

森のひろば No.1184 令和6年度11月号

箕面国有林で実施した「カブトムシ里親祭り」が掲載されました。

NO.1184

シリーズ『国有林 最前線!』

カブトムシ里親まつり (放虫編)

箕面森林ふれあい推進センター

箕面森林ふれあい推進センターでは、10月13日(日)、箕面国有林において「カブトムシ里親まつり(放虫編)」を実施しました。このイベントは「ふれあい推進事業」の一環として、NPO クワガタ探検隊と共催で実施しているもので、カブトムシの飼育を通して自然とのかかわりや命の大切さを学ぶことを目的として開催しています。今回は、8家族27名の方が参加しました。

「カブトムシ里親まつり」は、まず7月の飼育編で参加者がカブトムシのオスとメスのペアを持ち帰り、次に放虫編にて、生まれた幼虫を昆虫ベッド®に放すイベントで、自分たちで育てたカブトムシが次の世代につながっていく過程を体験していただいています。

創作紙芝居「タマムシの彩ちゃん」

参加者にはまず、NPO クワガタ探検隊の方々が作成した創作紙芝居「タマムシの彩ちゃん」を観ながら、生き物についての知識を深めていただきました。次に、昆虫ベッドに腐葉土を敷き詰め、今回放すカブトムシたちのすみかを整え、子供たちは初めて触る幼虫にはしゃぎながら、自らの手でカブトムシを昆虫ベッドに放しました。最後に、ピオトープ「花の谷」周辺を探検し、カエルやトンボ、トカゲ等様々な生き物と触れ合い、楽しんでいただきました。

また、その際に特定外来生物のウシガエルを捕獲、観察することができました。初めて見るカエルの大きさに、子供たちだけでなく、大人の方も驚いている様子でした。

参加者からは、「紙芝居の絵が上手だった」「幼虫さん大きいカブトムシになるといいね」などの感想をいただきました。当日イベントを通じて、生き物を育てることへの責任や、生命の大切さ、森の豊かさなどを学んでいただければ嬉しい限りです。

※昆虫ベッド：センターが設置した、腐葉土を敷き詰めたカブトムシの生育に適した場所

昆虫ベッド作成中

集合写真

1 運営推進懇談会（箕面森林ふれあい推進センター）

（1）趣旨

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林づくり活動や自然再生活動を行っているNPO団体等及び森林環境教育を推進している教育関係者等の要望を的確に反映した取組等を行うため、当センターの運営に関して、学識経験者、森林ボランティア活動を行っている者及びマスコミ関係者をメンバーとする懇談会を設置し、懇談会等からの意見及び要望等を反映させた対話型の取組、効果的かつ効率的な運営を推進しています。

（2）検討事項

- ア ボランティアによる森林整備活動に関すること
- イ 自然再生に関すること
- ウ 森林環境教育支援活動に関すること
- エ 情報の発信に関すること

（3）懇談会委員

- ・三 角 真 理（毎日新聞社 社会部）
- ・久 山 慶 子（フィールドソサエティー 事務局長）
- ・山 下 宏 文（京都教育大学 社会科学科教授）
- ・幸 田 良 介（大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 主任研究員）

（4）令和6年度運営推進懇談会実施概要

第1回運営推進懇談会を、9月10日（火）、近畿中国森林管理局（桜ノ宮合同庁舎）において開催しました。

懇談会では、令和5年度事業実施状況及び評価、令和6年度活動予定について、所長から説明を行い、各委員との質疑応答を行いました。

専門家委員からは、当センターの取り組みについて「間伐モデル林の新しい取り組みが進まなかったのは何故か」「シカ捕獲頭数が伸び悩んでいる原因は」などのご意見のほか、「ゾーニング調査は自然再生の取組と目的樹種を育成等目的がはっきりしていてよい」「これまでの調査結果は里山再生に向けたモデルケースとして出せないか」のなどのご助言をいただきました。

専門家委員からいただいたこれらのご意見やご助言を踏まえ、実施可能なものから取り組むこととしています。

2 取組一覧・連携一覧

(1) 森林環境教育関係

各種事業を通じて、森林環境教育等の普及・技術提供・情報発信に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
令和6年 6月27日	近畿大学生国有林視察案内	大学生等	箕面国有林
令和6年 7月9日	第1回「箕面体験学習の森」育成・活用事業検討委員会	検討委員会 委員	箕面国有林
令和6年 7月21日	カブトムシ里親まつり（飼育編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれあい推進事業）	公募	箕面国有林
令和6年 9月10日	箕面森林ふれあい推進センター 運営推進懇談会	懇談会委員	近畿中国 森林管理局
令和6年 10月6日	近畿大学中高大連携 森林学習プロジェクト	大学生等	箕面国有林
令和6年 10月13日	カブトムシ里親まつり（放虫編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれあい推進事業）	公募	箕面国有林
令和6年 10月31日、 11月1日	都島中学校職場体験	中学生	箕面国有林
令和6年 11月21日	森の探検隊（東能勢小学校）	5年生	箕面国有林
令和6年 12月1日	カブトムシ里親まつり（植樹編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれあい推進事業）	公募	箕面国有林
令和6年 12月3日	出前授業（YMCA 学院高等学校）	高校生	大阪市内

年月日	内 容	参加者	場 所
令和 6 年 2 月 6 日	森林環境教育研修	愛媛県中予地区林業研究 G	箕面国有林
令和 6 年 2 月 14 日	第 2 回「箕面体験学習の森」育成・活用事業検討委員会	検討委員会 委員	箕面国有林

(2) シカ被害対策関係

シカ被害対策を通じて、自然再生及び多様な生態系の維持に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
令和 6 年 5 月 16 日	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
令和 6 年 8 月 23 日	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
令和 6 年 12 月 17 日	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
令和 7 年 2 月 20 日	箕面国有林シカ被害防止対策 情報交換会	大阪府猟友会箕面支部、 明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会（大阪府、 箕面市、森林ボランティア 団体外）	箕面市立 市民会館

(3) 地域等との協働

地域・NPO 団体等との連携を大切にして活動しています。

年月日	内 容	参加者	場 所
令和 6 年 4 月 18 日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 104 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館

年月日	内 容	参加者	場 所
令和 6 年 5 月 16 日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 令和 6 年度（2024 年度）総会	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館
令和 6 年 5 月 16 日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 （第 105 回例会）	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館
令和 6 年 6 月 13 日	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 （幹事会）	大阪府北部農と緑の総 合事務所、大阪府池田土 木事務所、箕面市外	箕面市ビジタ ーセンター 講義室
令和 6 年 6 月 21 日	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 （総会）	大阪府北部農と緑の総 合事務所、大阪府池田土 木事務所、箕面市外	箕面市立 市民会館
令和 6 年 7 月 18 日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 （第 106 回例会）	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館
令和 6 年 9 月 19 日	明治の森箕面自然休養林管理 運営協議会 （第 107 回例会）	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館
令和 6 年 10 月 11 日	明治の森箕面国定公園マナーア ップ推進パトロール	大阪府北部農と緑の総 合事務所、大阪府池田土 木事務所、箕面市外	箕面国有林外
令和 6 年 10 月 17 日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 （第 108 回例会）	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館
令和 6 年 11 月 3 日	山とみどりのフェスティバル	みのお山麓保全委員会	龍安寺 前広場

年月日	内 容	参加者	場 所
令和 6 年 12 月 7 日	第 20 回箕面の山大掃除大作戦	箕面の山パトロール隊、 箕面市不法投棄防止対 策連絡会、明治の森箕面 国定公園保護管理運営 協議会外	明治の森箕面 国定公園
令和 6 年 12 月 19 日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 109 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館
令和 7 年 2 月 20 日	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 110 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面市立 市民会館



近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

令和 6 年度 職員名簿



令和 7 年 3 月 31 日現在

上席自然再生指導官（所長）	岩本 英世	【令和 7 年 4 月 1 日 転出】
自然再生指導官（自然再生担当）	今村 正伸	【令和 7 年 4 月 1 日 転出】
係員（森林ボランティア担当）	吉田 周平	
係員（森林環境教育担当）	善田 衣莉	【令和 7 年 4 月 1 日 転出】





林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号 近畿中国森林管理局内

電話：050-3160- 6745 FAX：06-6881-2055

ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

E-mail kc_fureai@maff.go.jp

この「年報」は上記アドレスに掲載していますので、ご覧下さい。

